PHP 練習問題. 13 ログインとログアウト

練習問題13では「ログイン」と「ログアウト」の機能について学習します。

● ログイン機能

- 1. ログイン画面で
 - 「ユーザー名(ユーザーID)」と「パスワード」 を入力します。
- 2. データベースのテーブルから、入力した「ユーザー名」と「パスワード」 に一致するユーザーを検索します。
- 3. 一致するユーザーがあれば、セッションにユーザーの情報を保存し、ログイン後に表示されるページへリダイレクトします。
- 4. 一致するユーザーがなければ、ログイン画面へリダイレクトし、エラー メッセージを表示します。

● ログインが必要なページの処理

- 1. セッションにユーザー情報があれば、表示します。
- 2. セッションにユーザー情報がなければ、ログインページへリダイレクト します。

● ログアウト機能

1. セッションに保存されたユーザーの情報を破棄し、ログインページへリダイレクトします

● パスワードについて

- 1. パスワードは、悪意を持った第三者にサーバーをハッキングされてもパスワードがもれないように、暗号化処理を施します。
- 2. 「いきなりプロ並み PHP」の書籍では、md5()という関数を使って暗号 化処理を行っています。
- 3. しかし、md5()は暗号化強度が弱いため、現在では利用されることはありません。代わりに、password_hash()と password_verify()を使います。

password_hash()

https://www.php.net/manual/ja/function.password-hash

password_verify()

https://www.php.net/manual/ja/function.password-verify.php

※ 「PHP 練習問題 12」で作成したファイルをそのまま使用します。

練習問題のファイルをコピーしてお使いください。

設問1. 「PHP 練習問題 08」で作成したデータベースに、下記のテーブルを追加してください。

テーブル名: users

デフォルトの文字コード: utf8mb4_general_ci

名前	データ型	Null	デフォルト値	
		不許可		
id	INT	yes		Primary Key
				AUTO_INCREMENT
email	VARCHAR(256)	yes		
password	VARCHAR(256)	yes		
name	VARCHAR(50)	yes		

- ✓ email はログイン ID に使います。
- ✓ E-mail の最大の長さはインターネットの仕様で 256 文字と決められています。
- ✓ パスワードはハッシュ化するので、最大 256 文字程度必要です。

設問2. Users.php を class/db のディレクトリの中に新規作成します。 Users.php では、下記の内容を記載してください。

- (1) Base クラスを継承した Users クラスを作ります。
- (2) コンストラクタで親クラス(スーパークラス)のコンストラクタを呼び出してください。
- (3) 以降、ユーザーに関する処理のメソッドは、Users クラスの中に作ります。
- 設問3. user_add.php を新規作成し、下記のようにフォームを作成してください。 form の action は user_add_action.php にしてください。
- user_add.php

新規ユーザー登録	
Email address	
Password	
お名前	
登録	

- 設問4. user_add_action.php を新規作成します。下記の処理を行ってください。
 - (1) POST されてきたメールアドレスが既にテーブルに存在しているかどう か調べます。
 - ① 存在しているとき、エラーメッセージをセッションに保存して、 user_add.php にリダイレクトし、エラーメッセージを表示します。
 - ② 存在していないとき、処理を続行します。
 - (2) パスワードを password_hash()関数を使ってハッシュ化(暗号化)します。

\$pass = password hash(\$pass, PASSWORD DEFAULT);

- (3) users テーブルにインサートします。
 - インサート処理が成功したら、login.php ヘリダイレクトします。 (login.php は後ほど作成します)
 セッションに保存したエラーメッセージは削除します。
 - ② 処理が失敗したら、エラーメッセージをセッションに保存して、 user_add.php にリダイレクトし、エラーメッセージを表示します。
- (4) 「設問 4」の一連の処理は、Users クラスにメソッドを作り、 user_add_action.php で呼び出して使いましょう。
- (5) user_add.php を編集します。user_add_action.php で発生したエラーメッセージの内容を user_add.php で表示するようにします。
- (6) レコードが正常にインサートされているかどうか、phpMyAdmin など のツールで確認しましょう。

user_add.php

新規ユーザー登録	
Email address	
satomi@sample.jp	
Password	
•••••	
お名前	
さとみ	
登録	

インサート処理に成功したら、login.php にリダイレクトされます。(が、ファイルはまだないので、Not Found になるります)

Not Found

The requested URL /php_exam/13/login.php was not found on this server.

すでに同じメールアドレスが登録されているときは user_add.php ヘリダイレクトし、エラーメッセージを表示します。



例外スローされたとき(データベースに接続できないなど)は、 user_add.php ヘリダイレクトし、エラーメッセージを表示します。 (MySQL を Stop するなどしてお試しください)



インサート処理に成功しているかどうかは、phpMyAdmin などのツールで確認してください。パスワードはハッシュ化(暗号化)されているので、複雑な文字列になっています。

id	email	password	name
1	satomi@sample.jp	\$2y\$10\$I/dC4m8irxjDZTiGQsKEO.IN2B9Iq/t3y6W9v65rkab	さとみ

- 設問5. login.php を新規作成します。下記のように、ログインフォームを作成してください。form の action は login_action.php にします。
- login.php

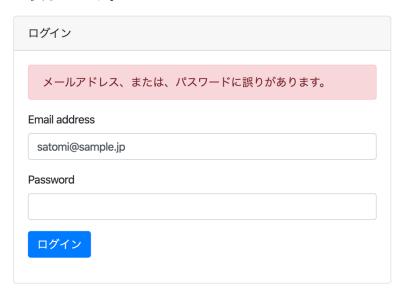


- 設問6. login_action.php を新規作成します。下記の処理を行います。
 - (1). 入力された Email のユーザーを検索します。
 - ① 該当のユーザーがなかったら、login.php にリダイレクトし、エラーメッセージを login.php で表示します。
 - (2). 該当のユーザーが存在したら、入力されたパスワードとレコードに保存されたハッシュ化されたパスワードを password_verify()関数を使って照合します。
 - ① パスワードの照合ができなかったときは、login.php にリダイレクトし、エラーメッセージを login.php に表示します。
 - (3). パスワードの照合ができたときは、ユーザーの情報をセッションに保存し、index.php にリダイレクトします。

ログインに成功したとき、トップページが表示されます。



ログインに失敗したとき、login.php にリダイレクトし、エラーメッセージを表示します。



※ 「メールアドレスが間違っています」「パスワードに誤りがあります」などと、個別のエラー表示はしません。なぜでしょうか?

- 設問7. index.php でセッションに保存されているユーザーの情報を表示しましょう。また、ログインしていないときは、login.php ヘリダイレクトするようにします。
 - ※ ログインしていないときに login.php ヘリダイレクトする機能は、下記のフィルにも実装します。
 - action.php
 - add.php
 - csv.php
 - download.php
 - update.php
 - upload.php

logout.php へのリンクを設置します。

index.php



- 設問8. ログアウト機能を実装します。logout.php にアクセスすると、セッションに保存されているユーザーの情報を削除します。その後、login.php にリダイレクトします。
 - ※ ログアウトしたあとに、index.php など、ログインが必要なページにアクセスしたときに、login.php ヘリダイレクトされることを確認してください。